



ほっとケーキ



令和6年11月

ほっとルーム

秋から冬へ

ふり返れば、今年は「暑い10月」でした。そんな中、『ほっとルーム』の子どもたちは、自分なりのめあて（こうしたい・これならできる）をもって運動会に参加しました。

昨年度のこの頃に比べ、子どもたちが自分の思いを言葉にしたり行動に移したりするようになってきたと感じます。例えば、全体練習で児童席の位置を確認する日のこと。

A「先生、席の位置を（説明して）変えてもいい？」

私「それだったら、運動会に参加しやすい？」

A「うん」

私「わかったよ。じゃあ、担任の先生にも伝えようね」

A「もう言っているよ。『いいよ』って言われた」

席については、Bさんも、家で相談してきたことを伝えてくれました。それを元に、学校で対応できることと難しいことを考え、当日の居場所を調整しました。

年度始めに、『ほっとケーキ』でこのようにお伝えしました。

自分一人のことも、学校全体のことも同じで、よく考えてきめる→きめたことをまわりの人たちに伝える→実行するという流れがとても大切だということです。この流れをひきだすために、開成小学校では、子どもたちに次のような問いかけをしています。

「何か困っていることがある？」「あなたは どうしたい？」「何かお手伝いすることはある？」
ご家庭でも、ぜひ、同じように声をかけていただければと思います。

保護者の皆様や先生たちが問いかけ、子どもたちがそれに答えることをくり返し、子どもたちは自分のことをよく考えてきめるようになりました。きめたことをまわりの人に伝えることも、すんなりとできるようになってきました。自分の思いを目の前の相手に伝えることだけでなく、運動会の席のこのように「おうちの人と相談してきてね」「先生に伝えてね」と頼まれて連絡役もしています。声をかけると黙ってしまったり、「先生、代わりに言って」とお願いされたりすることが無くなったと感じます。自分できめたことを実行することで、「言ってもいいんだな」「やってもいいんだな」という、成功体験を積み重ねています。

季節は移り変わり、子どもたちは変化していきます。自分のやりたいことを実現する力をつけています。そうした子どもたちの姿を見られるのは、とてもうれしいことです。

あかまるつけています

『ほっとルーム』の予定黒板には、全員分の週予定表が貼ってあります。『ほっとルーム』では、毎朝、自分でその日の予定をきめています。『ほっとルーム』で過ごす時間、プレイルームで過ごす時間、自教室で過ごす時間というように計画を立てます。

自教室で過ごした時間は、週予定表に赤丸をつけています。『ほっとルーム』のあゆみには、「教室での学習に参加している（リモート学習も含む）」という評価項目があります。どれくらい参加しているか、チャレンジを「見える化」しています。

ご来校の際は、ぜひご覧ください。